

「最幸の技術」で地域の今を、
そして未来を支える
企業であり続けたい。



益村測量設計株式会社

01/GIS業務



02/測量・調査業務



03/設計業務



私たちには、いつでも仕事への誇りと
感謝の気持ちを持って、
お客様へ
最幸の土木技術サービスを提供し続け、
安心・安全な地域社会の創造に
貢献します。

益村測量設計株式会社

創業 1930年5月5日

資本金 1000万円

本社所在地 北海道網走市新町1丁目7-14

従業員数 31名

技術職 28名(男性 20名 女性 8名)

事務職 3名

登録・認証 測量業登録 第(14)-1269号

建設コンサルタント 建02第6820号

(土質および基礎/河川、砂防及び海岸・海洋)

補償コンサルタント 補30第3455号

(土地調査)

ISO9001 : 2015

登録番号: NJQ-283 (本社)



01/GIS業務

お客様にGISを使用した業務の効率化を提案し、システムを構築することが主な業務です。
自治体向け全庁型GISの構築や、農業水利施設、道路・下水道等のインフラ情報のデータ化を行っています。



GISってなんだろう？

地理情報システム Geographic Information Systemの略称。

気象、人口、地形、住所、交通量など様々なデータを可視化して、情報の関係性、パターン、傾向を洞察し、共有する情報技術のことです。
身近なものでは防災マップなどがあります。

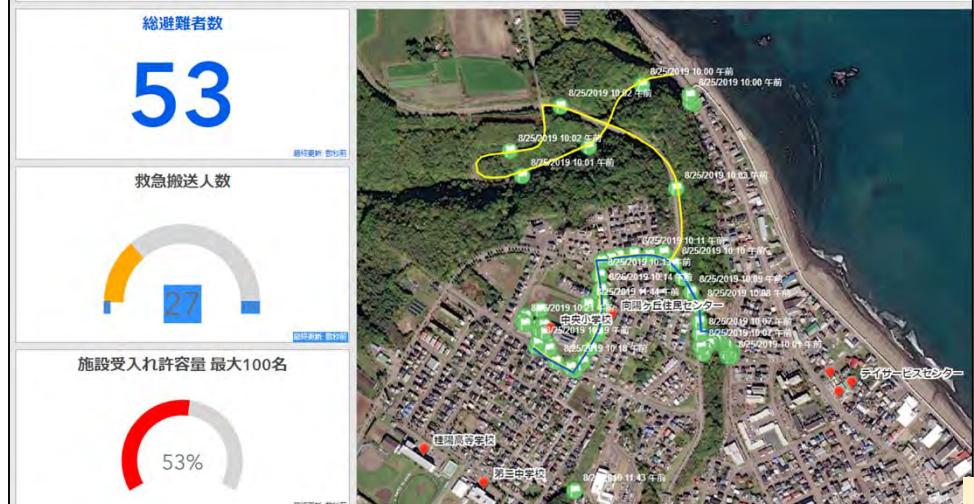


過去の取り組み一例



農地カルテ聴き取り調査。現在地の把握にArcGIS Field Maps、調査票の作成にSurvey123 for ArcGISを利用している。（※上図はどちらもスマートフォンの画面）

海岸町町内会・向陽ヶ丘連合町内会地区防災訓練 令和元年8月25日(日)午前10時能取岬沖約20km マグニチュード7.5の地震発生



ArcGIS Dashboards を用いた防災訓練の様子。

総避難者数や緊急搬送人数、避難施設の許容量などをリアルタイムで確認できる。



ArcGIS
Dashboards

マップ

じょうほう

地図 × 情報 =

無限の可能性。



必要な資料を探し出すだけで一苦労。

資料から情報を読み取ろうにも、専門性が高いものだと

知識や経験が必要で、内容を把握しきれない…。

そんな仕事の悩み、ありませんか？

GISならまとめて解決！

実際の成果品をご紹介させていただきます。



夜道の安全を守る

Case01 網走市 市民活動推進課
防犯灯管理システム



災害への備え

Case02 網走市 総務防災課 ハザードマップ



インフラを見る化

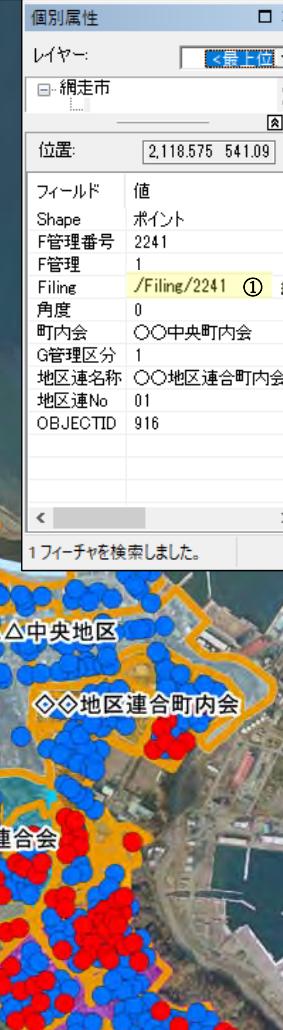
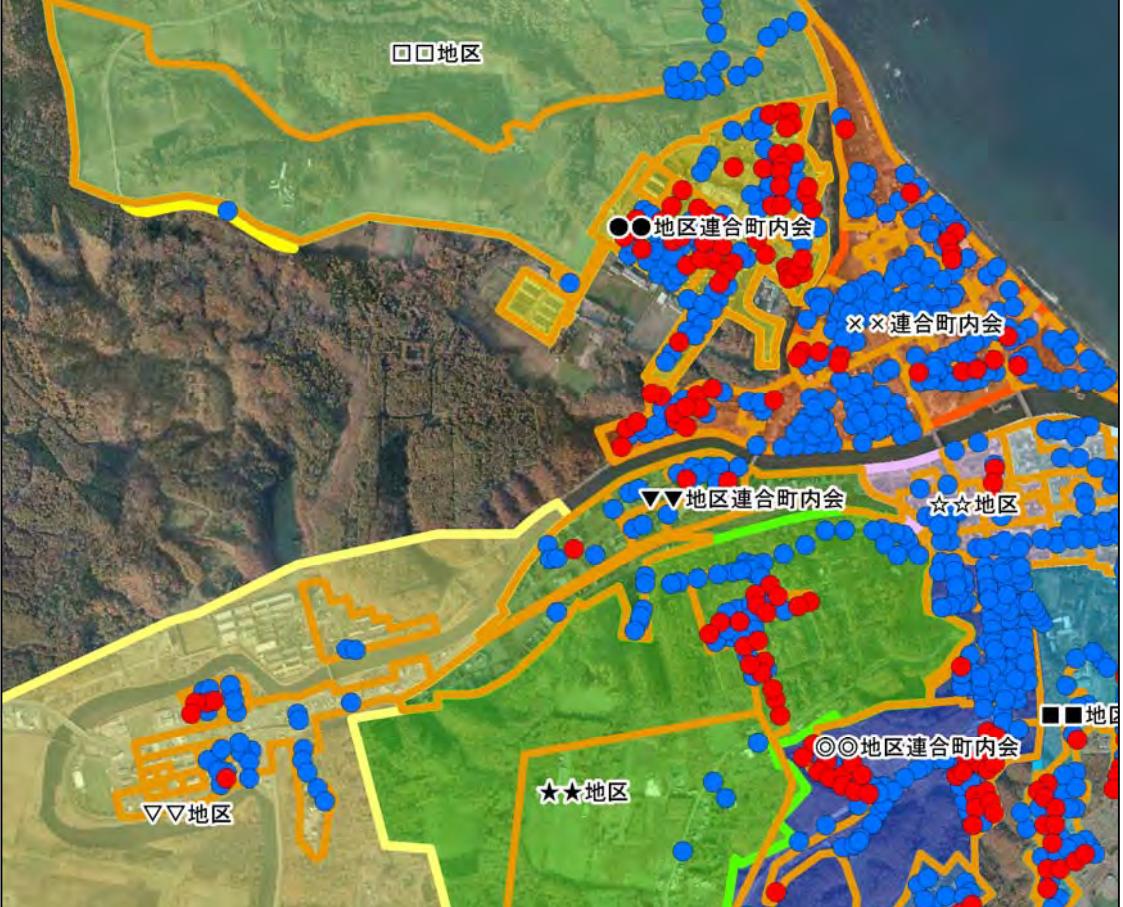
Case03 網走市 水道課 上下水道管理システム
都市管理課 道路河川管理システム



土地の評価を明確に

Case04 網走市 税務課 固定資産税GIS

夜道の安全を守る



Case
01

網走市 市民活動推進課

防犯灯管理システム

防犯灯が不足している地域は?
管理区分および新設・移設・撤去
状況を一括で管理したい

管理区分によって色を分ける事により**地域ごとの
管理状況を一目で把握。**

個別属性に写真の保存先の情報(*①)を持たせる
ことで、GIS上から直接写真にアクセス可能。

防犯灯の設置場所を点データ、町内会や地区連区域を面データで表現。

2つのデータを重ねて表示することにより、**防犯
灯が不足している地域を視覚的に判断できる。**



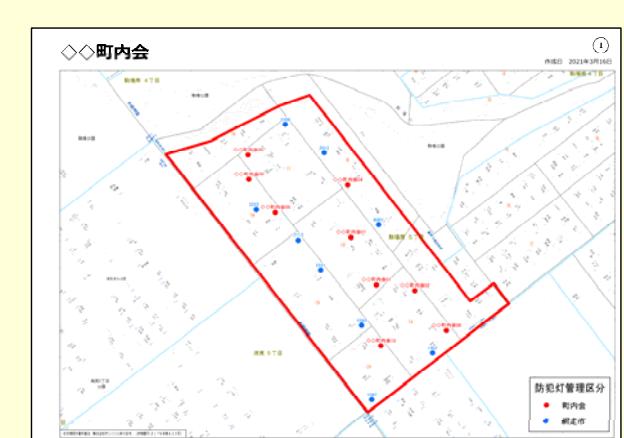
拡大すると管理番号が表示される。赤は町内会、青は
網走市の管理下にあることを表している。 (1:1000)



点データをクリックすると
フォルダが開く。(フル



対応する写真を保存した
ダリンク)



背景は切り替えることができ、町内会単位での防犯灯
マップも作成可能。 (PDFに出力)

避難対象となる住居はどこか？ 災害の種類、発生箇所に応じた 避難場所を指定したい

災害発生時の影響範囲及び避難対象者住居を面データ、避難所を点データで表現。

背景を切り替え、表示する情報を絞り込むことによって職員用巡回図(*①)としても利用できる。

影響範囲の面データ、避難対象者住居のデータ、避難所の点データを重ねて表示することにより、**災害発生時に各地域の避難対象者にとって最も適した避難所を指定することができる**。

避難対象者住居のデータと住民基本台帳の情報を連動させることにより、地域ごとの避難対象者数を把握でき、スムーズな避難指示および避難が可能。

右のハザードマップは土砂災害版

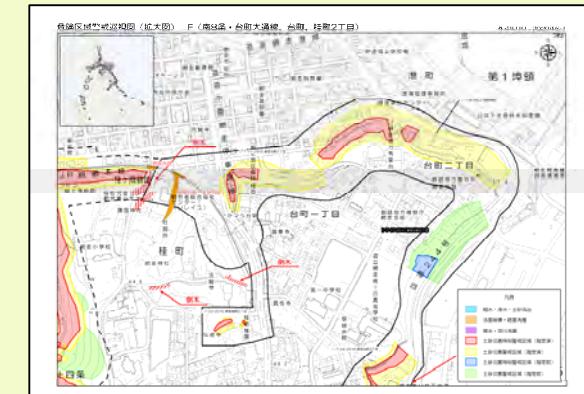
津波浸水ハザードマップ

洪水浸水ハザードマップは次頁掲載

避難対象者住居のデータ
倉庫、それ以外は要救



*① 危険区域警戒巡回図



災害への備え

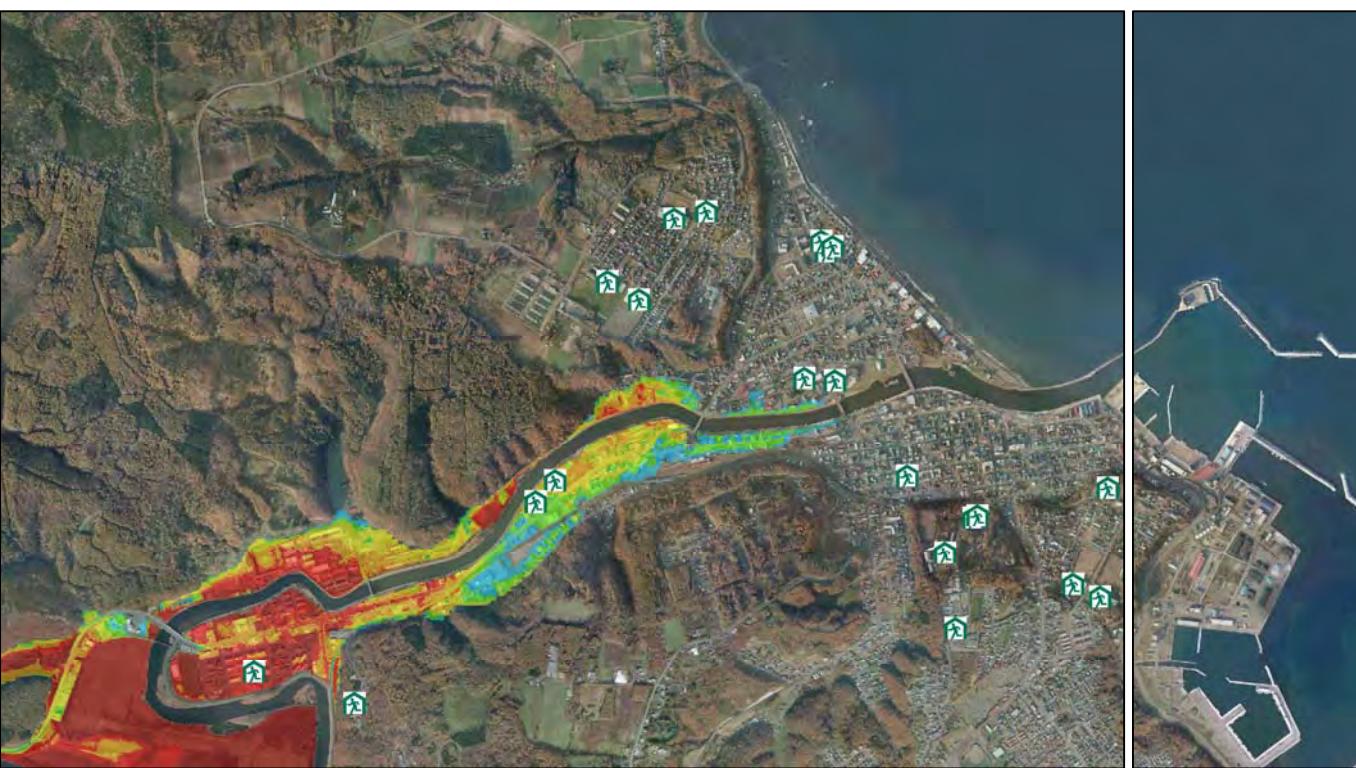
津波浸水ハザードマップ[°]



津波浸水予想区域

- 4.0m以上
- 2.0m以上～4.0m未満
- 1.0m以上～2.0m未満
- 0.5m以上～1.0m未満
- 0.5m未満

洪水浸水ハザードマップ[°] (1000年に一度の大暴雨を想定)



洪水浸水深

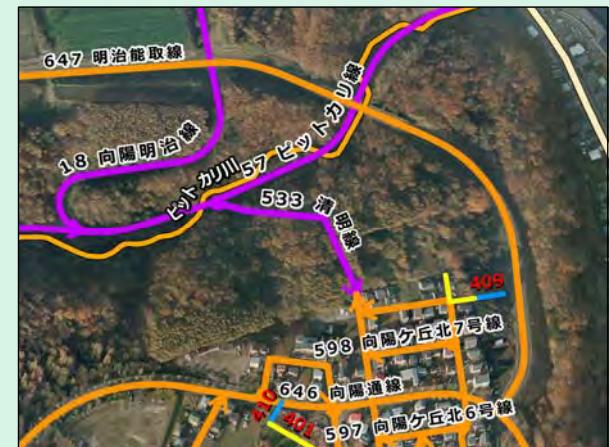
- 2.5m以上
- 2.0m以上～2.5m未満
- 1.5m以上～2.0m未満
- 1.0m以上～1.5m未満
- 0.5m以上～1.0m未満
- 0.5m未満



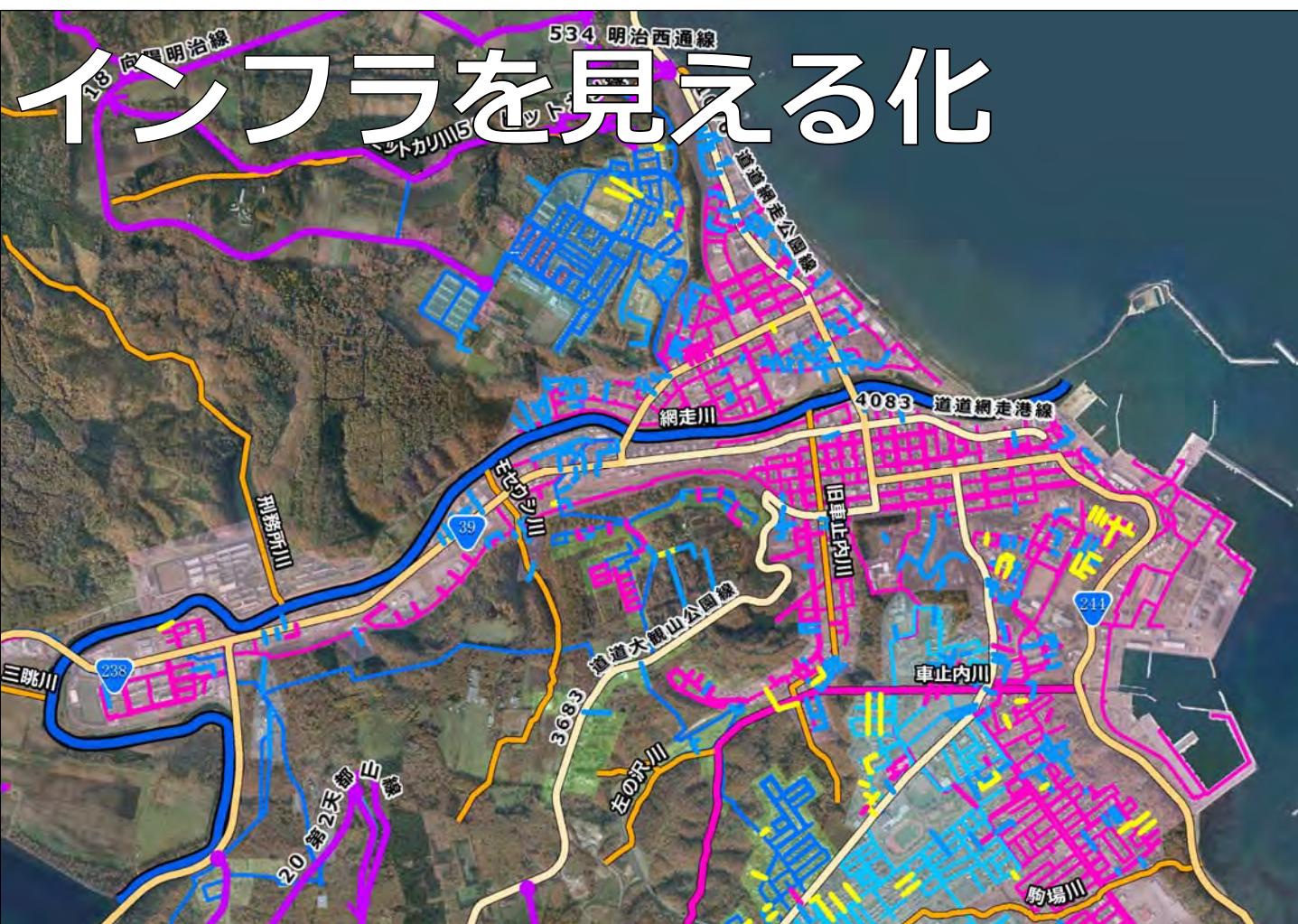
上水道関連のデータのみ表示 (1:1000)



下水道関連のデータのみ表 示 (1:300)



道路・河川関連のデータのみ表示 (1:5000)



網走市 水道課
Case
上下水道管理システム
網走市 都市管理課
道路河川管理システム

データを可視化し、情報を格納 管理の一元化を実現

水道管、道路、河川を線データ、消火栓、仕切弁等は点データ、配水区域を面データで表現。

管の口径や材質などを属性に入力しておくことで、水道施設の維持管理や更新計画等の解析にも利用可能。

現地調査アプリ(*①)を使用し収集したデータを基礎データに追加する一連の作業をスムーズに行えるため、**業務の効率化に繋がる**。

*①現地調査用データ収集アプリ
ArcGIS Survey123



地番データに情報を付加 状況類似区分・標準宅地情報 地目情報・路線価をデータ化

路線を線データ、都市計画区域、用途地域図等を面データで表現。

路線価を文字として表示することにより(*①)
情報が可視化され、紙の資料から探し出すの
に比べて**業務の効率が上がる。**

路線価や地番図をデータ化することで、地番の検索や市民からの情報提供時に素早く柔軟な対応が可能。



地目別関連データのみ表示 (1:3000)



*① 路線価関連データのみ



表示 (1:2000)



任意箇所の地番図を出力可能 (市民への閲覧交付用)

土地の評価を明確に

参考価格



Case01 防犯灯管理システム

※防犯灯総数2500基、持ち出し用タブレット及びGISライセンス購入の場合

システム構築 ————— ¥1,000,000～
年間保守費用 ————— ¥ 300,000～



Case02 ハザードマップ

※土砂災害版避難対象者マップ（5kmメッシュ・14箇所）の場合

作成費用 ————— ¥ 400,000～



Case03 上下水道管理システム

※ GISライセンス購入及び既存のデータをGIS形式へ変換する場合

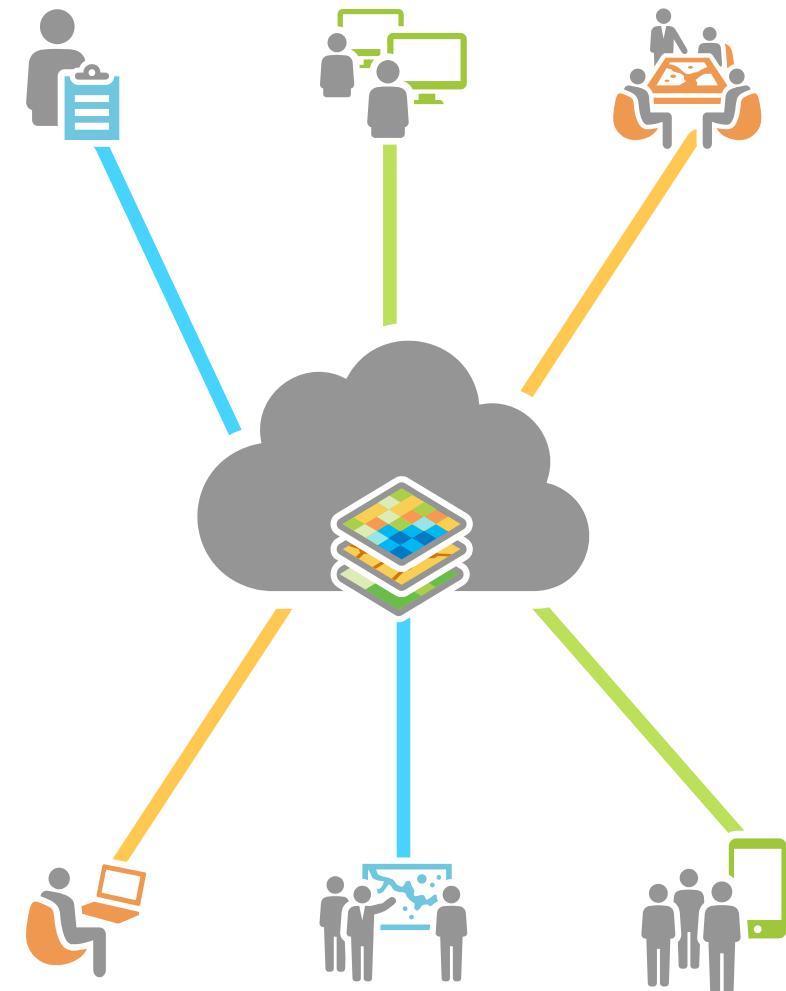
システム構築 ————— ¥3,300,000～
年間保守費用 ————— ¥ 400,000～



Case04 固定資産税GIS

※地目情報、路線価情報の他、地番図・字界データの更新も含む場合

年間保守費用 ————— ¥ 900,000～



※上記は一例です。詳細な見積が必要な場合はお手数ですが弊社へ問合せをお願いします。

TEL : 0152-44-7335 mail : masumura@masumura.co.jp

益村測量設計株式会社 技術部 技術室 GISグループ

02/測量・調査業務

近年では、レーザーやカメラをドローンに搭載して地形の計測を行ったり、

自動追尾機能がついている測量機器を導入するなど、最新技術を使って作業の安全性や効率を向上させています。

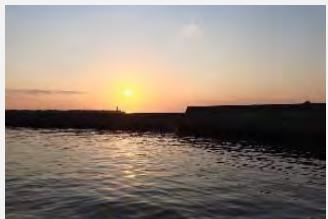


ドローンを使用した測量



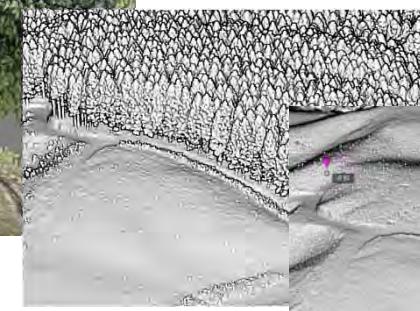
GNSS測量の様子

ドローンで撮影した動画をYOUTUBEで公開中！

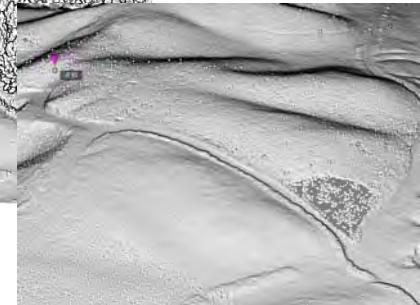


益村測量設計チャンネル
晴れた日の能取岬
朝焼けのオホーツク海
... and more!

業務一例



UAV測量



橋梁点検車を用いた
橋梁点検

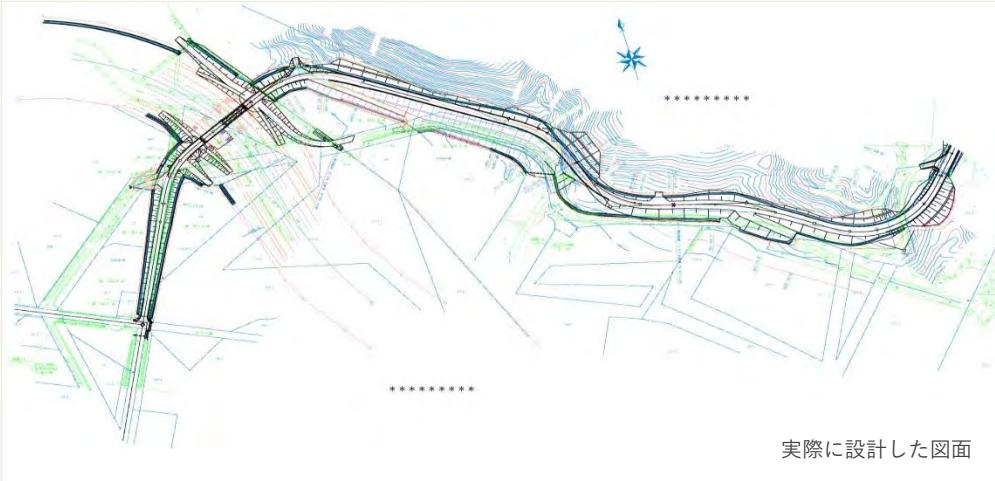


点群データを用いた測量調査

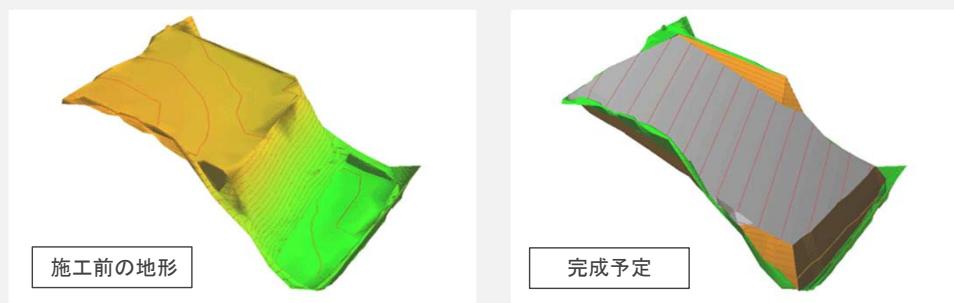
03/設計業務

測量・調査で得た地形データをもとに、構造物の設計や基礎の設置を専用ソフトを使用し、図面を作成する作業です。近年では地形や工事実施後の状態をわかりやすくするために設計図の3Dモデル化も実施しています。

業務例



3Dモデルによる施工イメージの作成



施工前の地形(現況)や完成予想図などの図面を3Dモデル化することで、知識がない人でもわかりやすい設計図を目指しています。



「益村」のここがすごい！

オホーツク地域の中でも、国・地方公共団体等からの
受注率が高い建設コンサルタント会社です。



優秀技術者表彰式の様子



感謝状贈呈式の様子

弊社は、土木技術サービスを通じて、安心安全な街づくりに貢献する事を目標とし、より良い技術をお客様である国民へ提供するために、社員ひとりひとりのスキルアップを図り、更なる土木技術の開発・向上を心掛けてきました。

積み重ねてきた努力が実を結び、業務に対する信頼と実績によって、オホーツク管内において高いシェア率を誇る建設コンサルタント会社となる事ができたと同時に、多くの賞を頂きました。

ごあいさつ

皆さん、こんにちは。

弊社代表取締役 社長の益村 公人です。

弊社は1930年5月、益村薰土地家屋調査士事務所の開業(創業)に始まり、本年2021年で91年目を迎えました。

これだけ長く続けられてきているのも、仕事を通した地域貢献がお客様に認められ、また地域からも弊社が必要とされている証でもあると考えております。

これから9年後の2030年には、創業100年を迎える予定です。

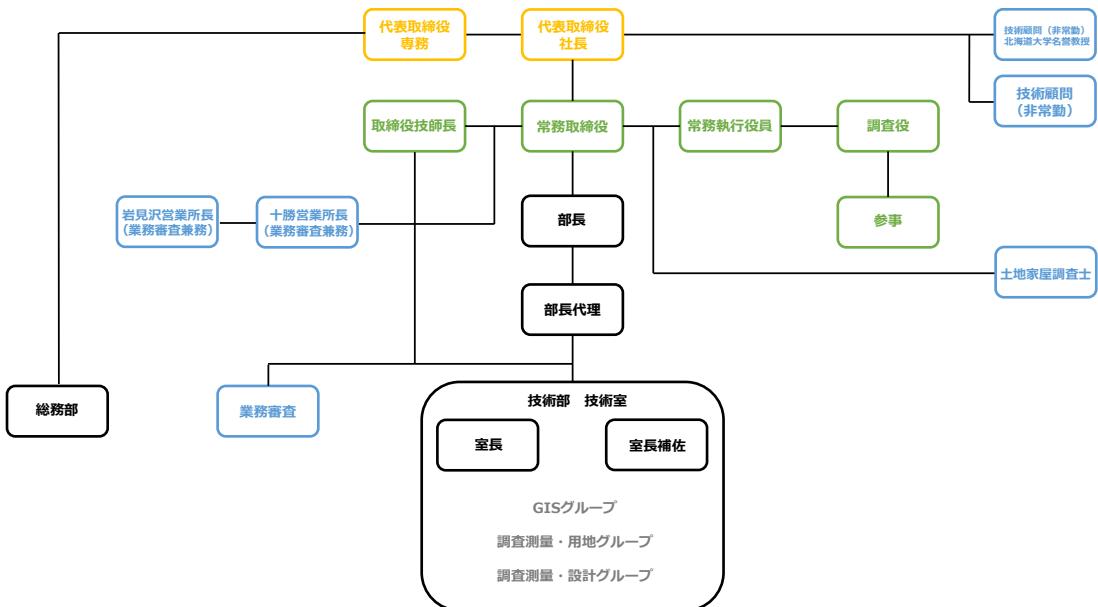
世間では百年企業のことを老舗(しにせ)と呼ぶようですが、

これからも働く社員が楽しいと思える会社であり続け、その結果として、お客様に満足していただく為の仕事に繋がることが老舗となる道と信じ、企業活動を行って参ります。

益村測量設計株
代表取締役 益村 公人



組織図



有資格者

博士(工学)/ 技術士(建設部門) / 土地家屋調査士/修習技術者(技術士第1次試験合格者)

RCCM(農業土木/道路/鋼構造およびコンクリート)/1級土木施工管理技士/同2級

測量士/地理空間情報専門技術者/基準点測量技術 1級/ 同2級

応用測量専門技術 2級/土地改良補償業務管理者/土地改良専門技術者/ 2級造園施工管理技士

宅地造成設計資格/畑地かんがい技士/畑地かんがい技士補/河川点検士/地籍主任調査員

下水道技術検定 第2種/農村災害復旧専門技術者/初級システムアドミニストレータ/潜水士

沿革

- 1930年 5月 創業(初代 益村 薫)
- 1963年 1月 有限会社 益村測量事務所 設立登記
- 1975年 11月 益村 満代表取締役就任
- 1998年 3月 株式会社へ移行(益村測量設計株式会社へ改名)
北海道農政部所管事業優秀業者賞 受賞
- 1989年 北海道建設優秀業者 表彰(測量委託部門)
- 2001年 9月 益村 清子代表取締役就任
- 2002年 12月 ISO9001 : 2000(品質マネジメント)認証登録
- 2004年 12月 益村 公人代表取締役就任
- 2007年 8月 北海道発注による測量委託部門において受賞
- 2009年 1月 北海道発注による農業農村整備事業の調査設計において受賞
- 2013年 12月 オホーツク総合振興局 網走建設管理部 優秀管理技術者受賞
- 2014年 11月 北海道発注による農業農村整備事業の委託業務において受賞
- 2015年 3月 オホーツク総合振興局 農業農村整備事業優秀技術者 受賞
- 2016年 3月 オホーツク総合振興局 農業農村整備事業優秀技術者 受賞
3月 オホーツク総合振興局 農業農村整備事業優秀技術者 受賞
- 11月 北海道発注による農業農村整備事業の委託業務において受賞
- 12月 平成28年度8月台風災害の調査設計に対する感謝状を頂く
オホーツク総合振興局 網走建設管理部優秀管理技術者賞受賞
- 2017年 3月 オホーツク総合振興局 農業農村整備事業優秀技術者 受賞
- 2018年 3月 オホーツク総合振興局 農業農村整備事業優秀技術者 受賞
- 2019年 3月 オホーツク総合振興局 農業農村整備事業優秀技術者 受賞
- 2020年 3月 オホーツク総合振興局 農業農村整備事業優秀技術者 受賞

(2021年5月 現在)

益村測量設計株式会社

本 社 ☎093-0046 北海道網走市新町1-7-14

営業所 岩見沢営業所 / 札幌営業所 / 十勝営業所

営業時間 8:30~17:00

T E L 0152-44-7335 **F A X** 0152-43-3379

H P <http://www.masumura.co.jp>

E-mail masumura@masumura.co.jp